

資金繰りを理解し、金融機関と上手に付き合う 安心な経営のための資金繰り・ 経営改善入門講座

[中小企業大学校九州校開催]

研修のねらい

企業の事業継続のためには、資金の流れを理解することが重要であり、資金の流れが止まってしまうと会社の存続に大きな影響を及ぼすことになります。また、事業を営んでいれば、いつ何時、業績悪化に見舞われるかわかりません。

本研修では、事業を存続させるため、キャッシュを重視した経営に不可欠である「キャッシュフロー計算書」と「資金繰り表」の作り方、活用方法について学びます。さらに、実際の経営が悪化した場合、どのように再建を果たせばよいのか?ということ、ケーススタディを用いながら、具体的な改善方法をグループで討議し、金融機関の支援を受けるための「経営改善計画書」の作り方も学びます。

研修のポイント

- ☒ 「利益」と「資金」の関係性を知り、資金繰り予測ができるようになります。
- ☒ 経営が悪化した際に、金融機関と折衝するポイントを学びます。
- ☒ 経営改善計画書のアクションプランを検討します。

研修期間

2025年 6/16(月)~17(火)

(2日間、14時間)

対象者

経営者、経営幹部、 経理財務の責任者

- 自社の資金繰り状況を把握したい方
- 自社の資金繰り改善のヒントを知りたい方
- 金融機関との交渉に自信を持ちたい方

定員 24名

受講料 22,000円(税込)

会場

中小企業大学校 九州校

福岡市博多区綱場町2番1号
博多F Dビジネスセンター3階

月日	時間	科目・内容
6/16 月	9:20-9:30	開講式・オリエンテーション
	9:30-12:30	財務諸表の見方・読み方 ● 利益と資金の違い ● キャッシュフロー計算書の読み方・活用方法 ● 資金繰り表の読み方・活用方法 ● 資金繰りに関連する財務指標と分析手法 ● 財務状況から適正な借入規模の把握
	13:30-17:30	
6/17 火	9:30-11:00	経営改善計画書作成に必要な知識の習得 ● 金融機関が財務上、着目するポイントとは ● 金融機関が財務以外で、着目するポイントとは
	11:00-17:30	グループワーク ● 事例を用いて、経営改善計画のアクションプラン（改善に向けた具体策）を検討します。 ● グループワーク発表 ● 講師講評
	17:30-17:40	終講式

※カリキュラムは都合により変更する場合があります。予めご了承ください。

講師紹介 (敬称略)



財務リスク研究所株式会社 代表取締役

横山 悟一 (よこやま ぐいち)

会計事務所、コンサルティング会社等の勤務を経て、2002年アーネストコンサルティングを開業。2008年6月、名称を「財務リスク研究所」に変更。約10年にわたる研究を重ね、指標を使わない世界初の分析手法「ビジュアル分析」を開発。難解なバランスシートをわかりやすくするだけでなく、独自に開発した「財務与信格付けシステム」により、決算書の格付け、決算書に潜むリスクや粉飾を読み解くノウハウを確立。分析した決算書はすでに7,000社を超えている。著書に『3分間で決算書が読める!』(H&I)、『売上をあげる手段としての決算書の使い方』(総合法令出版)、『小さな会社のCFO』(日経BP社)、『新リーダーへ!「これが会社の数字の読み方です」』(実務教育出版)ほか多数。